

(委員会設置背景)

■大曲JCは次代を担う若きリーダーとして、地域の課題解決に向け、率先して行動してまいりました。様々な団体が混在し、会員数が減少傾向にある昨今、今まで以上の活動・運動を展開していくには、対内外からさらなる共感を得る必要があります。

(委員会設置目的)

■活動・運動を展開できるよう組織の基盤を整えるとともに、組織の存在感を高めることを目的とします。

(委員会概算全体予算)

No1	2024年度 総会	予算	60,000円
No2	2024年度 広報誌・ホームページ・SNS	予算	6,000円
No3	2024年度 卒業式	予算	24,000円
No4	2024年度 広報事業	予算	50,000円
No5	2024年度 会員名刺・会員名簿	予算	0円
No6	2024年度 褒賞事業	予算	0円
No7	2024年度 定例会セレモニー	予算	0円
		合計	140,000円

(事業内容)

■2024年度 総会

(推進)

1)実施に至る背景:全開!想像力をスローガンに活動・運動を展開していくには、組織の方針や展望を把握し、全会員の共感を得て行動する必要があります。

2)目的:会員の当事者意識を高め、意思統一を図ることを目的とします。

3)概算予算: 60,000円

4)実施期間: ・第1回通常総会 2024年1月下旬 ・第1回臨時総会 2024年9月中旬 ・第2回臨時総会 2024年12月中旬

5)事業内容:第1回通常総会、第1回臨時総会、第2回臨時総会を開催し、全会員参加の意思決定の場を設えます。2024年度定例会のフラフ作成。

6)目標数値: ①委任状の回収100%の達成。②正会員の出席率70%の達成。

7)得られる効果:全会員参加の意思決定の場を設けることで、組織の活性化を図ることができます。

8)パートナー: 無

■2024年度 広報誌・ホームページ・SNS

(推進)

1)実施に至る背景:会員数の減少による予算減が影響し、広報誌はこれまでの紙での発行、発送が困難な現状があります。しかし、大曲JCの活動・運動をより効果的なものとするため、地域住民や各団体、特別・賛助会員の理解や賛同は必要不可欠です。次代を担う青年経済人として、時代に即したICT技術を効果的に活用し、理解や賛同を得る必要があります。

2)目的:より多くの方々に、我々の行っている運動を認知していただくことを目的とします。

3)概算予算: 6,000円

4)実施期間: 2024年1月~12月

5)事業内容:①広報誌を発行
②ホームページの更新 ③SNSの更新(Facebook・Instagram・X) ④JCI大曲コミュニティツールの運用

6)目標数値: ①ホームページアクセス数 前年度比20%増 ②SNS投稿閲覧数 前年度比20%増

7)得られる効果:地域住民や各団体、特別・賛助会員の理解や賛同を得ることで、大曲JCの運動をより効果的なものとすることができます。

8)パートナー: 無

■2024年度 卒業式

(事業)

1)実施に至る背景:因曲JCはこれまでこの地域に住まう青年経済人としての視点で運動を展開して参りました。これからも、若さを失わず、その歴史を繋ぎ、常に希望に溢れ、未来に向けた前進を続けていただくためには、会員の門出を祝い、感謝の意を伝える必要があります。

2)目的:【対外】

ご参加いただくことで、恩師、旧友及び後輩と再会し、絆を確固たるものにして結束力を高め、同時に新たな交友関係を広げる貴重な機会としていただきます。

【対内】

2024年度卒業生のこれまでの功績に感謝の意を伝え、その意思を引き継ぎ、現役会員との絆をより強固なものとするので、これからの人生の更なる躍進へと繋げることを目的とします。

3)概算予算: 24,000円

4)実施期間: 2024年12月

5)事業内容:大曲JCの歴史を繋いで、LOMを支えてきた偉大なる卒業生の功績を称え、感謝の気持ちを伝える卒業式を実施します。2023年度卒業生と共に過去の功績を振り返りながら、正会員、特別会員・賛助会員共に卒業を祝います。

6)目標数値: ①正会員参加率70%以上。
②特別会員・賛助会員参加20名以上。

7)得られる効果:卒業生の新たな門出を大勢で祝うことで、卒業生と現役メンバーの絆をより強固なものとし、今後もより一層の指導と助言を賜る関係を構築することが出来ます。卒業生に、今まで頑張ってきた来て良かったとより感じていただくことができます。

8)パートナー: 無

■2024年度 広報事業

(事業)

1)実施に至る背景:活動を対外に広報するために、SNSを活用し写真をアップロードしてきました。写真だけでは我々の活動・運動の熱量、雰囲気全てが伝わらない現状があります。我々の活動・運動を全開でアピールする必要があります。

2)目的:より多くの方々に、我々の行っている活動・運動を認知していただくことを目的とします。

3)概算予算: 50,000円

4)実施期間: 2024年12月

5)事業内容:1年間活動・運動の記録を残して、広報活動、対外へ認知していただくための動画を12月に1本作成して配信を行います。

6)目標数値: 正会員にアンケートを行い「動画を活用したい」回答 80%

7)得られる効果:地域住民や各団体、特別・賛助会員の理解や賛同を得ることで、JCI大曲の運動をより効果的なものとする事ができます。入会候補者への入会促進ツールとして活用することができます。

8)パートナー： 無

■2024年度 会員名刺・会員名簿

(推進)

1)実施に至る背景:2024年度の活動を円滑かつ効率的に行っていくには、特別会員、賛助会員及び正会員間の正確な連絡体制の管理が必要となります。また、効果的に運動を展開していくには、対外とのパートナーシップの構築は重要であり、JCI大曲及び会員の認知度向上を図る必要があります。

2)目的:特別会員、賛助会員及び正会員間の連携強化を目的とします。また、全国の同志や外部団体等と会員の名刺交換の場を印象深いものとするを目的とします。

3)概算予算: 0円

4)実施期間: 2024年1月上旬

5)事業内容:2024年度会員名簿を作成し、特別会員、賛助会員、正会員の連絡体制を整え、連携強化を図ります。また、2024年度会員名刺を作成し、大曲JC及び会員の新たなイメージを発信し、対外とのパートナーシップ構築のツールとします。

6)目標数値: 全会員へ名刺配布。

7)得られる効果:2024年度会員名簿を活用した連携強化により、2024年度の活動を円滑かつ効率的に行うことができます。また、2024年度会員名刺を活用した大曲JC及び会員の新たなイメージを発信により、大曲JC及び会員の認知度が向上します。

8)パートナー: なし

■2024年度 褒賞事業

(推進)

1)実施に至る背景:地域の次代を担う青年団体として、今後も効果的かつ魅力のある事業を展開していくには、価値観に固執することなく、新たな発想と多角的な視点で創造する力、イノベーションを起こす力が必要です。

2)目的:大曲JCの申請事業への意見や反応や、他LOMの事業から新たな気づきを得ることを目的とします。

3)概算予算: 0円

4)実施期間: 2024年1月～12月

5)事業内容:(公社)日本青年会議所の主催する褒賞事業にエントリーします。

6)目標数値:(公社)日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会主催の褒賞事業への正会員参加率70%以上。

7)得られる効果:事業の見直しの機会を得ること、また発表による会員の資質の向上、褒賞を受けることで更なるLOMの勢い向上に繋がることを目的とします。

8)パートナー: なし

■2024年度 定例会セレモニー

(推進)

1)実施に至る背景:事業の成功には事業内容を理解し、組織の基本理念・方針に準ずる必要があります。

2)目的:正会員の目的意識を統一し、一人ひとりが当事者意識をもち定例会に臨むことを目的とします。

3)概算予算: 0円

4)実施期間: 各定例会開始前及び終了後。

5)事業内容:

・定例会セレモニー(開会・閉会)の開催 ・定例会の席順の作成

6)目標数値: セレモニー参加人数が、定例会参加者の90%以上。

7)得られる効果:全会員が参加義務のある定例会の開始前に理事長挨拶及び会務報告を行い、毎月LOMがどのような活動を行っているのか共有する場を設えることで、組織の意思統一を図るおとができます。また、定例会終了後に監事講評を行い、事業の良かった点や問題点を共有し、今後の活動・運動に活かすことができます。

8)パートナー: なし